

## 第3回

# 協働の まちづくり プロジェクト会議結果



テーマ

『安心で新鮮な農産物の地産地消に向けて』

協働のまちづくりプロジェクト会議って何？



協働のまちづくりプロジェクト会議は、町内に居住する20歳以上の委員20名で構成し、まちづくりの課題等からテーマを設け、様々な視点からご意見やご提案等を話し合い、行政運営の参考としています。



3月に開催された第3回の会議結果は次のとおりです。

□給食で地元食材を使用している味噌については福有会さんが無償提供されており、とても良いことだと思います。

商品の加工等に関してですが、けんぶち産加工研究会には、どれくらいのスタッフがいて、年齢層はどうなっていますか。

□スタッフではなく役員として生産者や飲食店の方が20数名おり、そのほかの方でも役員の形ではなく協力者ということをお願いをし、協力していただいている体制を作っています。年齢層ですが、若い方から高齢者まで幅広くいます。

□けんぶち産加工研究会で商品化した中で大ヒット商品はありますか。

□2年目なので大ヒット商品かどうかは分かりませんが、玄米うどん、玄米そばはホクレンショップで人気が出てきています。また、道南の温泉施設からも納

品の依頼がきている状況です。商品の研究・加工施設はあるのですが、販売設備が整っていない状況です。

□作った商品を検証する尺度を作っておくと、何が良いのか悪いのか分かるので作っていただいた方が良いと思います。

□試作品を町内の店で使用していただき評価をしてほしいが、連携がとれてないこともあり難しいところがあります。

□評価するところがあれば良い悪いが分かると思います。

□意識改革しないと何も変わらな

いと思います。今年度、町の人材育成派遣研修で6次産業、農商工連携等の先進的事例を視察するため広島方面に行ってきた。視察で感じたことは、農商工連携がしっかりしているところでした。話をしているも行政やJAに頼ったという言葉は出てきません。生産者、商店、飲食店、商工会がしっかりして

いて、商品開発にも商工会のバ

ックアップ体制がきちんとできていました。

□視察研修の報告書を見せていただいたが、行政が先に立つのではなく皆さんが積極的にやる姿勢が素晴らしいと感じました。

□地元の農産物を購入することで生産者の顔が見え町を愛することにつながると思います。軽トラマルシェも顔が見えている部分でいいと思います。学校の給食に地元食材を使用することは、子供たちにとっても良いことだと思います。今後は、子どもたちに給食だけではなく生産者の働いている姿や商店街を見学する等再発見を含め進めてほしいです。

共通した食材、メニューの開発についてですが、レークサイド桜岡の菓子受けに少し高くなるかもしれないが町内のお菓子を置くなど工夫したら良いと思います。

□私たちは道の駅の農産物直売所に写真を付けて出しています。レークサイド桜岡や道の駅のレ

ストランにも地元の食材を使用  
していただいています。

提案ですが、レストランのメニューに米は〇〇農場、いもは〇〇農場と表示していれば「剣淵の食材はこんなにおいしんだ」と感じてもらえます。そして生産者の顔が分かり注文にもつながらるのでレストランの表示を工夫してはどうでしょうか。



営業マンになっていただければ  
と思います。

□町では町のホームページから個人のホームページにアクセスできるようにバナー広告の掲載を考えておりますので、ホームページの活用も大事だと思います。

□町民が地元の物を食べることが  
大切。市街地にも直売所があれば  
いいと思います。

□剣淵町の学校給食は先生たちに  
評判がいい。この話は数十年前  
から言われています。管内の学  
校給食では名寄市が先進地で地  
場産品を早くから取り入れる等  
量から質への転換を視野に入れ  
実施しています。道は名寄市、  
東川町、剣淵町の給食は評判が  
良いと言っていました。この地  
区はおいしい物を作る地域で  
もあり、夏の寒暖の差が農産物  
をおいしくしています。

私は地産地消ではなく地産全消  
で全国に届ければと思います。  
地元での地産地消は人口も限ら  
れているので難しいと思います。  
剣淵町は農業が基幹産業なので  
全国に発信する作業が大切だと  
感じます。行政が先頭にたつて

□生産者は主にJAに出荷してい  
ます。妻が道の駅の野菜直売所  
で販売させていただいています  
が、少ない量だけと全部売り切  
れてしまいます。ポイントは何  
かと考えると顔も見えて姿も見  
えているからこそ安心して安全が  
売りだと思っています。町外者  
と町内者の購入する割合が分か  
りませんが、町内の方に食べて  
いただければ喜ばしいです。

□結構地元の方も買っています。  
町外の方も良い物が置いてある  
ので買っています。

□剣淵町の名前を売るといふこと

が大切。地元の物を当たり前に  
食べているので感じませんが、  
友達が地元に戻ってきたときに  
「剣淵の食べ物はやっぱいい  
しい」と言っています。自分た  
ちは恵まれた環境にあるのだな  
と思います。

□米は年間消費されている物です  
ので、イベントで炊きたてのご  
飯を提供し、町内の方たちに剣  
淵産米の宣伝をしたらいいと思  
います。

□機会があれば提供していただき  
たい。

□軽トラマルシェも3年目に入り、  
先日VIVA（ビバ）マルシェ  
を設立しました。VIVAとは  
イタリア語で「バンザイ」を意  
味しています。軽トラマルシェ  
は農業者だけの取り組みなので  
農産物の販売となりますが、V  
IVAマルシェは商工会等も含  
めての活動なので特産品等も販  
売できるようになりました。

□軽トラマルシェも早く商標登録  
したほうが良いですね。

□ほとんどの商店は、旭一の市場  
から仕入れていると思います。  
市場に剣淵産があれば買ってく  
ます。町内でもネットワークが  
しっかりしていれば仕入れるこ  
とも可能だと思います。ですが、  
店に3つ4つをお願いするのも  
悪く感じ悩みます。

□研究される必要があります。

□剣淵の農産物を本州に送ってい  
ます。非常においしくて好評と  
お聞きしますので顔が分からな  
くても大丈夫です。自分なりに  
剣淵町の協力はしています。  
道の駅の構造のことですが、レ  
ストランから農産物直売所へ行  
けるようにしていただけませんか。  
現在は外を回らなければならな  
い。

□貫田シェフの講演会に参加して  
きました。話の中で「剣淵の  
豆ほどおいしい豆はない」と言  
っていました。

